

「第5回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書 (2013年11月調査)

2014年2月17日

はじめに

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。

2013年11月に「第5回調査」を実施しましたので、ここに調査結果を報告します。

当調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申しあげます。

調査概要

調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）

調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する116団体・事業所の勤労者

調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等

調査実施期間：年2回5月・11月。（第5回調査）2013年11月1日～11月30日

調査依頼数：(第5回調査)登録者数：505名、回答者数：407、有効回答数：405

調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

主な調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

経営状況DIは横ばいになり、前回の調査で見られた改善の動きは今回の調査では見られなかった（問1の結果参照）。

2. 身の回りの物価

身の回り物価DIは上昇し、勤労者が感じる物価は上昇傾向にある（問2）。

3. 賃金収入

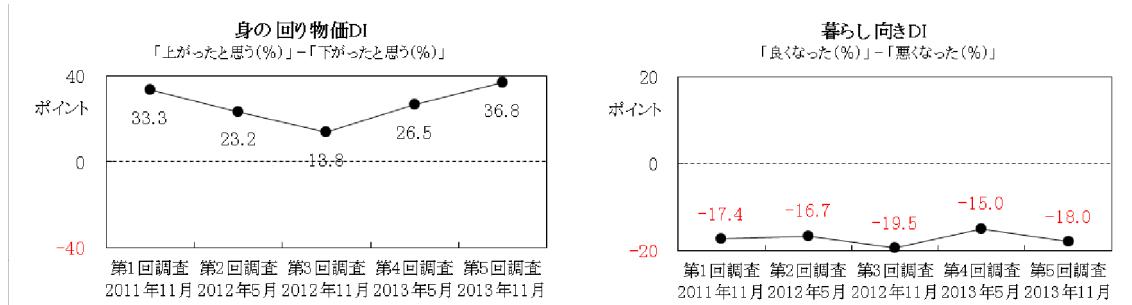
賃金収入DIは下落し、2011年の調査開始以来、最低になった（問4）。

4.暮らし向き・生活の満足感

暮らし向きDI、生活満足DI共に下落した（問10、11）。

5. 総括

昨年5月の調査では、仕事と暮らしの両面で改善の動きが見られたが、今回の調査では、その動きにブレーキがかかっているのがわかった。全体として、県内勤労者は勤め先の経営状況に対する評価をえていないが、身の回りの物価が上昇し、賃金収入が下落する中で、自分たちの暮らし向きが悪化していると捉えていること、将来への不安が高まっていることが確認された。



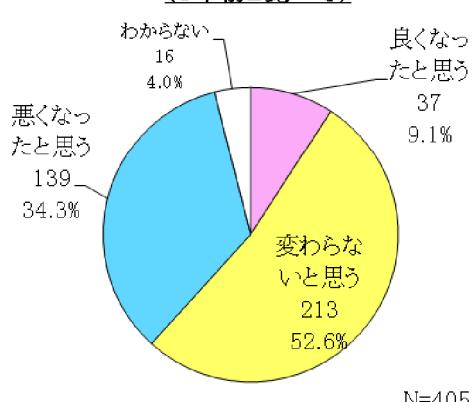
調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

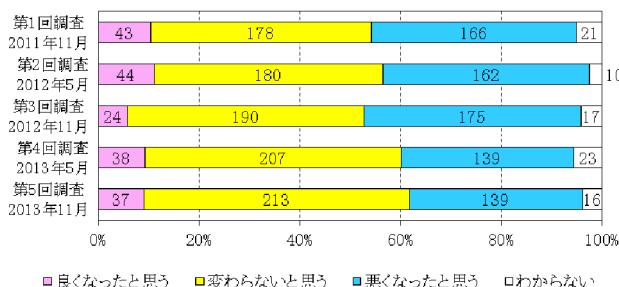
今回の調査でも、前回（2013年5月）の調査と同様に、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」が「良くなかったと思う」を大きく超過した。前回の調査では、景況感の改善が見られたが、今回の調査では、改善の動きは止まっており、経営状況DIは横ばいになった。

問1 勤め先の現在の経営状況

(1年前と比べて)

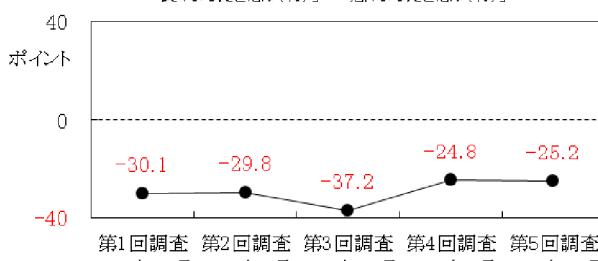


問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)

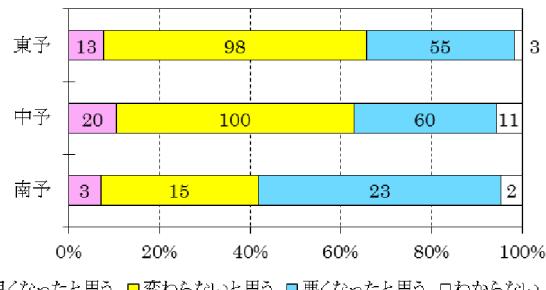


経営状況DI

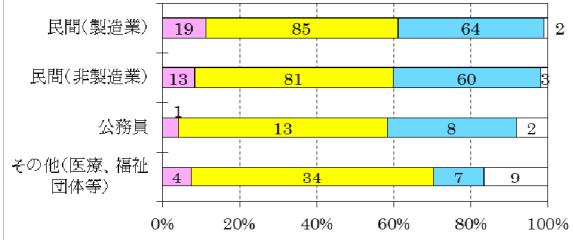
「良くなつたと思う(%)」 - 「悪くなつたと思う(%)」



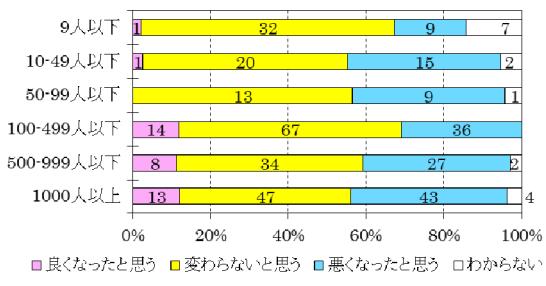
勤務地別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



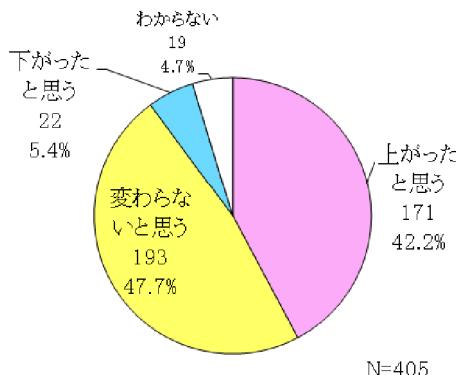
従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



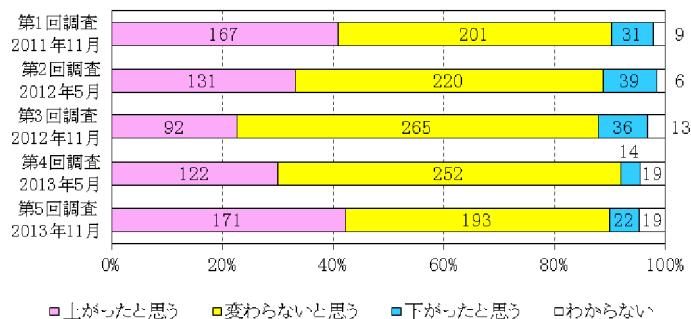
2. 身の回りの物価

1年前と比べた身の回りの物価については、「上がったと思う」が増加し、身の回り物価DIは上昇した。勤労者が感じる物価は上昇傾向にある。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)

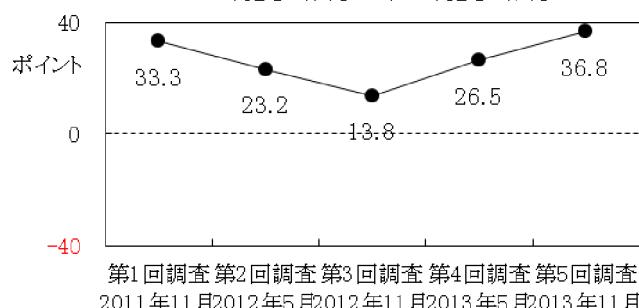


問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



身の回り物価DI

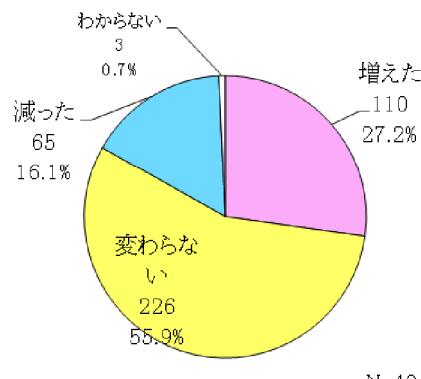
「上がったと思う(%)」-「下がったと思う(%)」



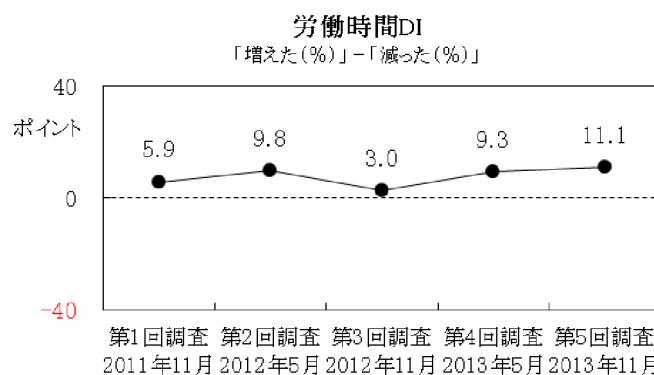
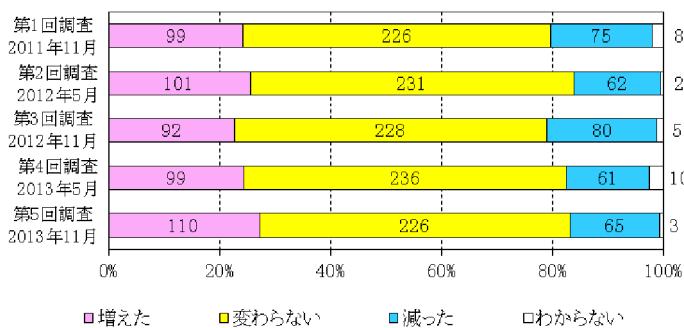
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、「増えた」が増加し、労働時間DIは僅かに上昇した。

問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)(1年前と比べて)

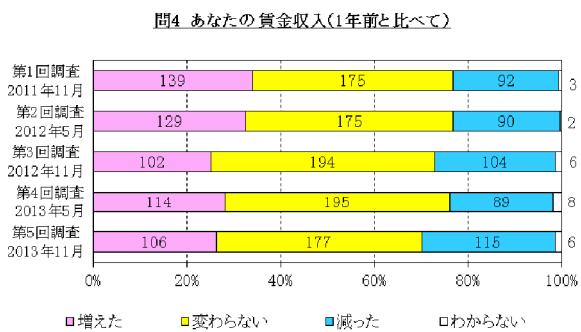
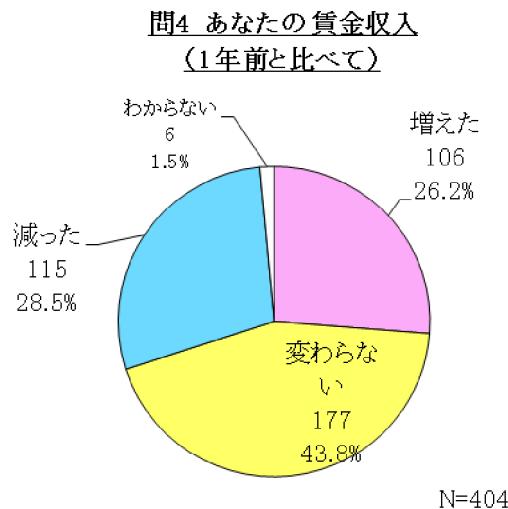


問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)

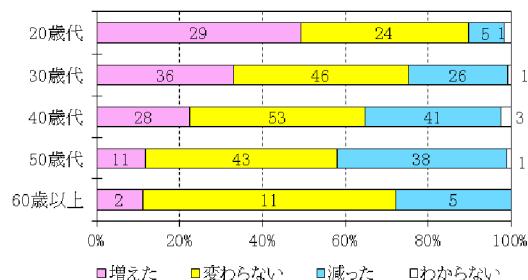


4. 賃金収入

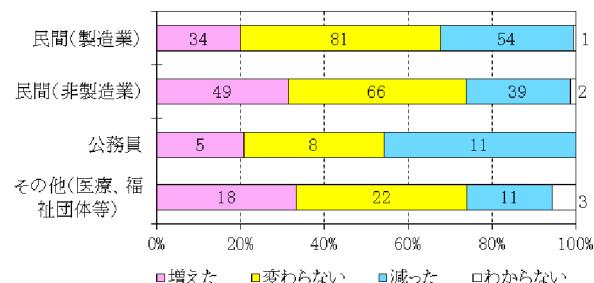
賃金収入が「増えた」が減り、「減った」が増えた。年齢が低い層ほど「増えた」の割合が多く、年齢が高い層ほど「減った」が多い。民間（非製造業）で「増えた」が多い。賃金収入DIは下落し、調査開始以来、最低になった。



年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)

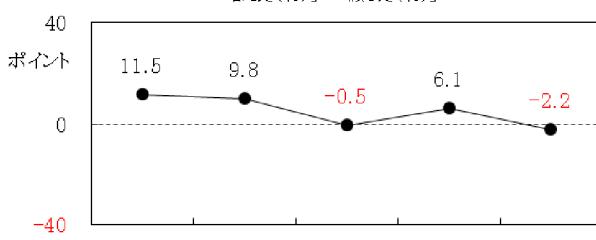


業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



賃金収入DI

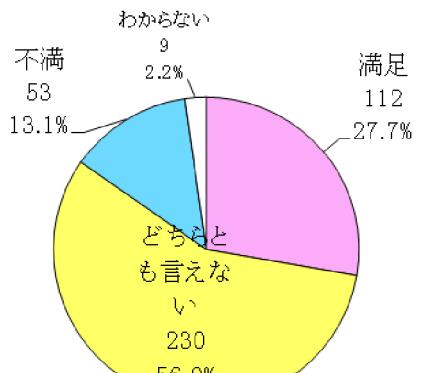
「増えた(%)」-「減った(%)」



5. 勤め先の仕事の満足感

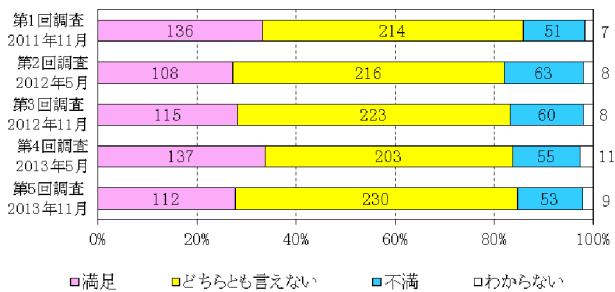
「満足」が減少し、仕事満足DIは下落した。過去の調査と同様に、年齢が高い層ほど、「満足」の割合が高くなる傾向がある。

問5 仕事の満足感

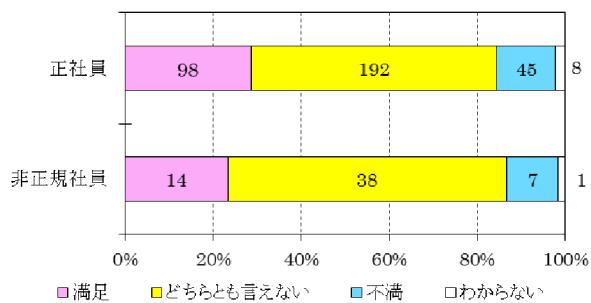


N=404

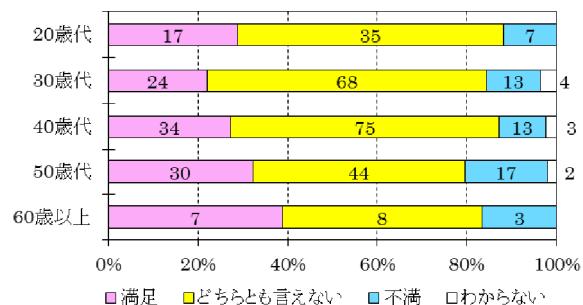
問5 仕事の満足感



就業形態別にみた仕事の満足感

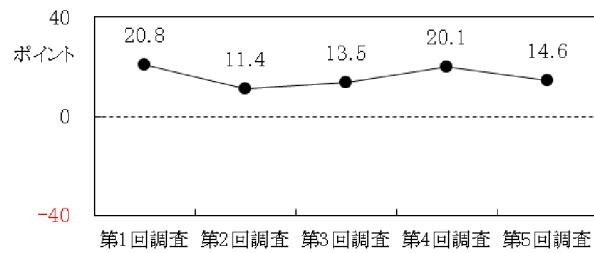


年齢別にみた仕事の満足感



仕事満足DI

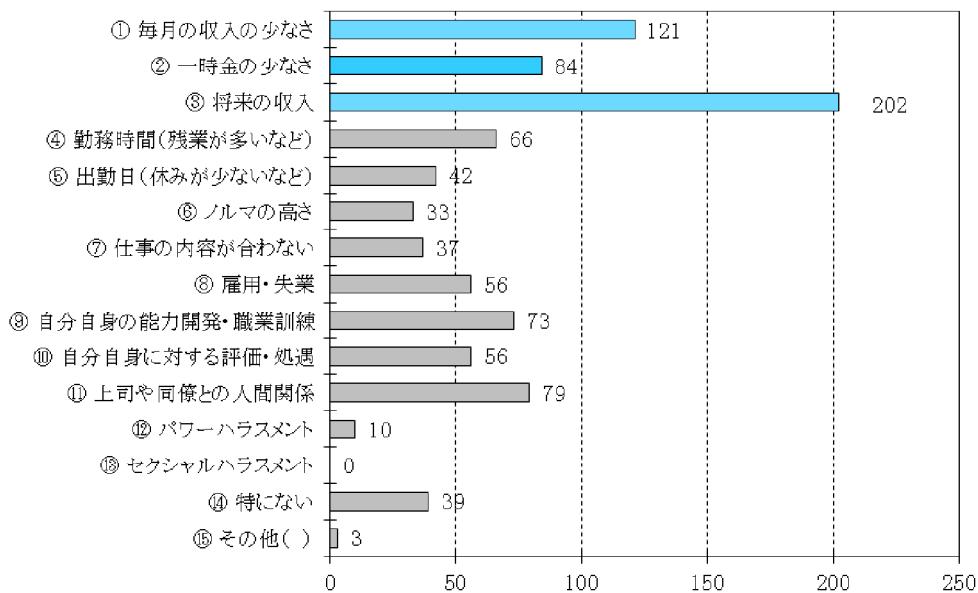
「満足(%)」-「不満(%)」



6. 仕事での不安・悩み

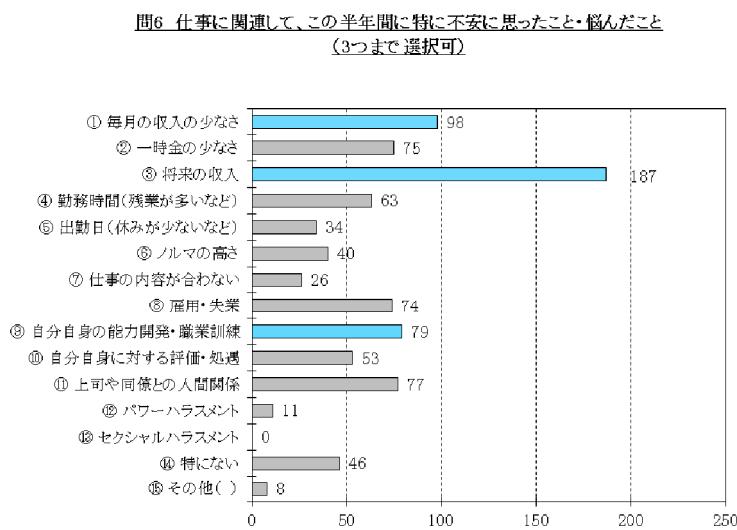
今回も、「将来の収入」への不安が突出した(50.2%)。「毎月の収入の少なさ」(30.1%)、「一時金の少なさ」(20.9%)といった金銭面の不安が上位にきている。

問6 仕事に関するこの半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=402

参考 前回第4回調査(2013年5月)



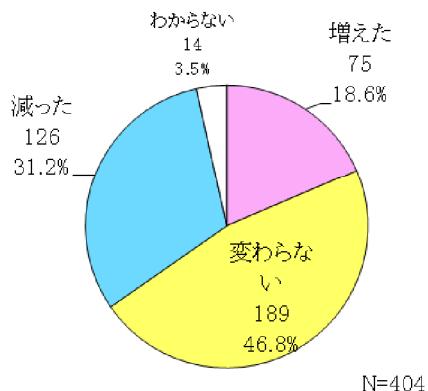
N=403

暮らし向きについて

7. 世帯全体の収入

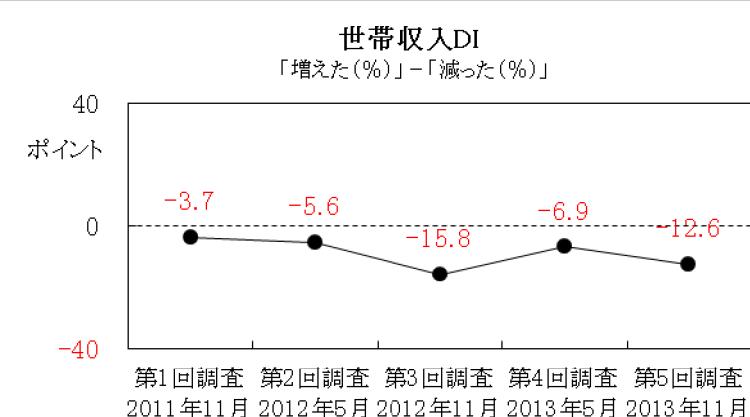
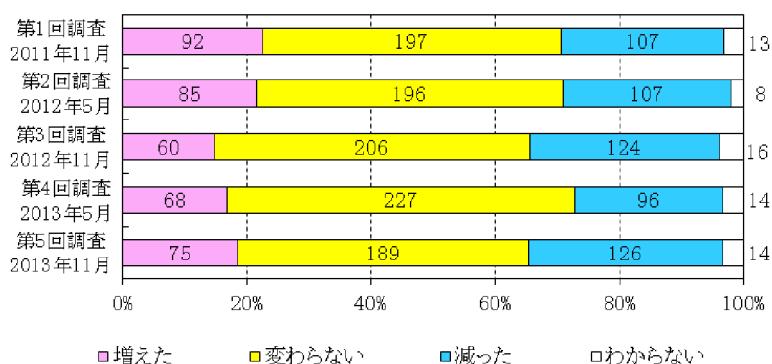
前回調査と比べ、世帯全体の収入は、「減った」が増え、世帯収入DIは下落した。

問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



N=404

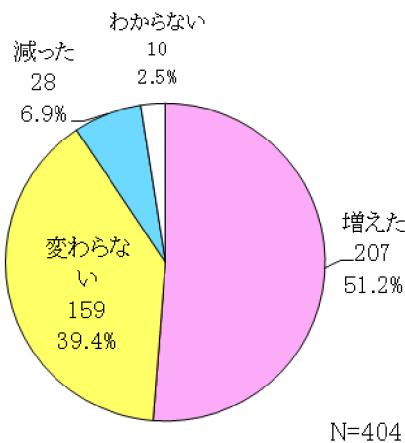
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



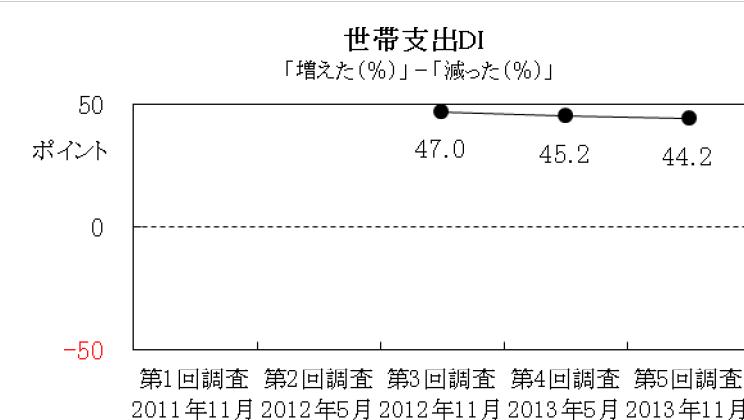
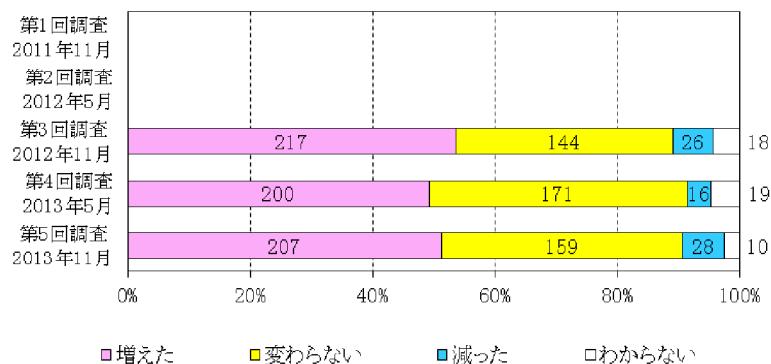
8. 世帯全体の支出

世帯全体の支出は、「増えた」と「減った」が共にやや増加し、世帯支出DIは横ばい。

問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



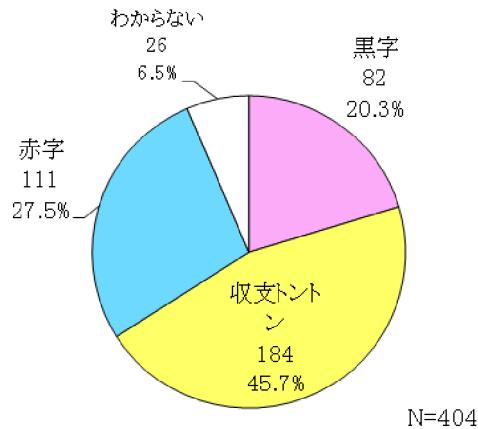
問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



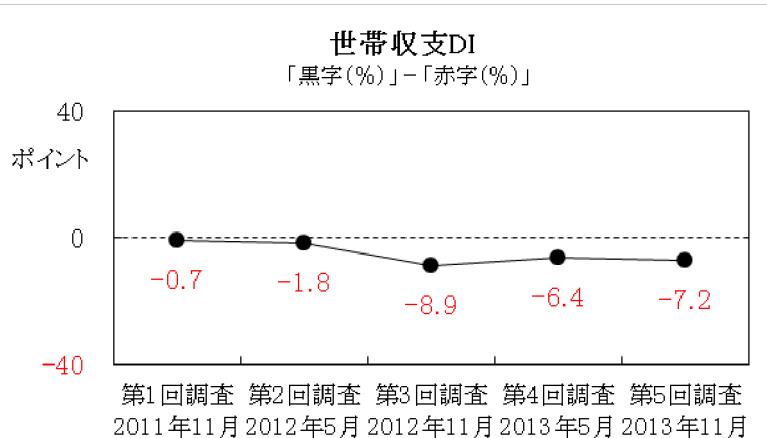
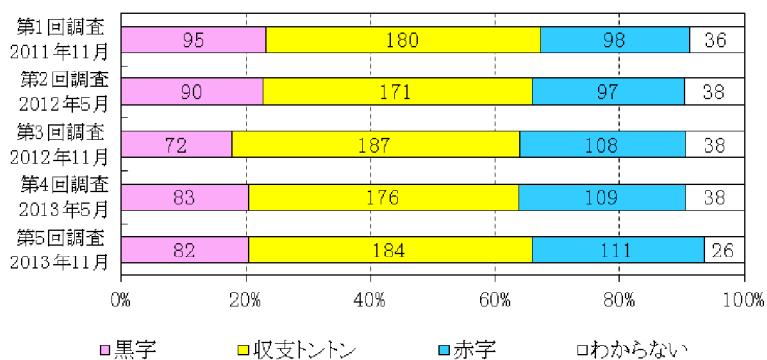
9. 世帯の年間収支

前回調査とほぼ同じ内容で、世帯収支DIは横ばい。

問9 1年間の世帯全体の収支



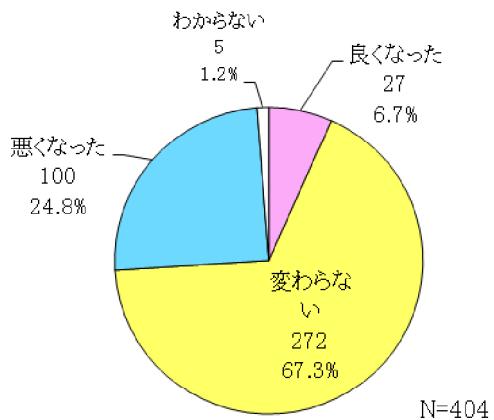
問9 1年間の世帯全体の収支



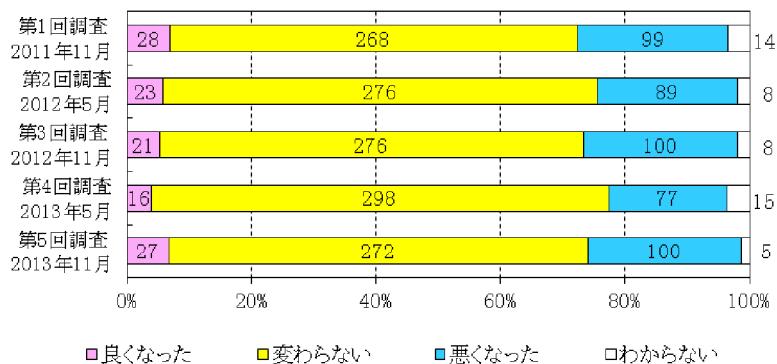
10. 世帯の暮らし向き

前回調査と比べ、暮らし向きは「良くなった」が増えたが、それ以上に「悪くなった」が増え、全体として暮らし向きDIはやや下落した。

問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



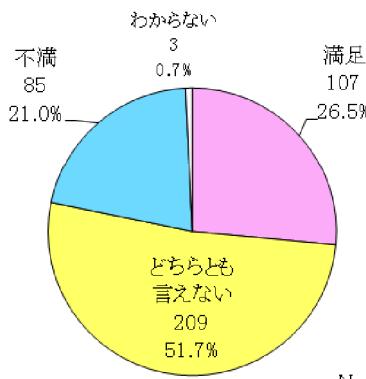
暮らし向きDI
「良くなった(%)」-「悪くなった(%)」



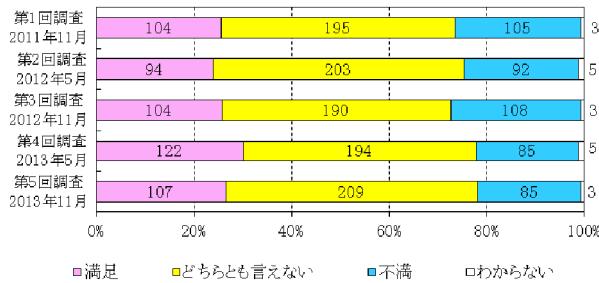
11. 生活の満足感

前回調査と比べ、「満足」が減少し、生活満足DIは下落した。就業形態別では、「非正規社員」で満足の割合が低い。年齢別では、年齢の高い層ほど「不満」の割合が高くなるが、明確な差はない。年収別では、年収が高い層ほど「満足」が増え、「不満」が減る。また、世帯収支との関連性、仕事の満足感との関連性も見られる。

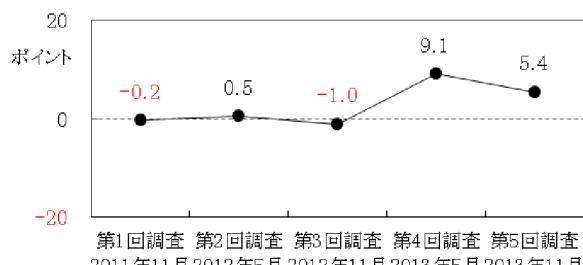
問11 生活の満足感



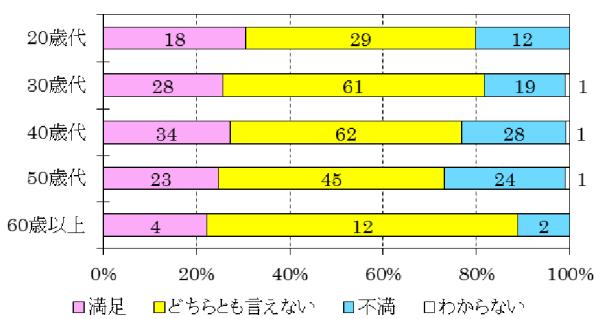
問11 生活の満足感



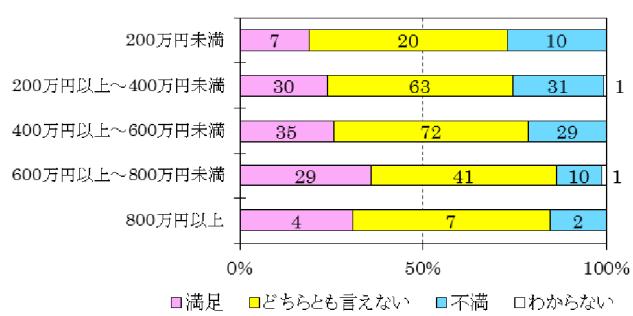
生活満足DI
「満足(%)」-「不満(%)」



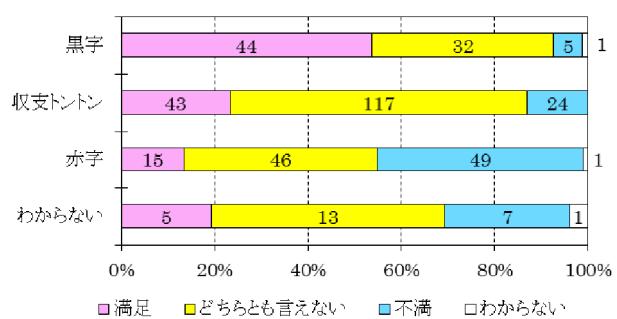
年齢別にみた生活の満足感



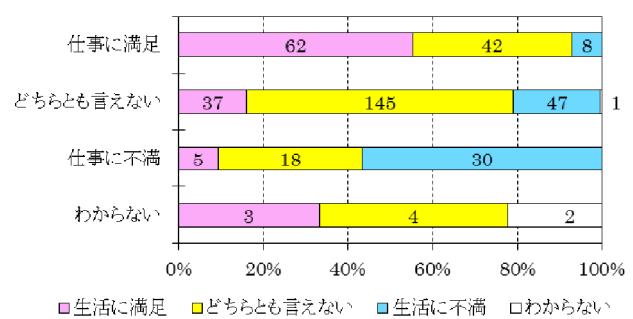
年収別にみた生活の満足感



世帯収支別にみた生活の満足感



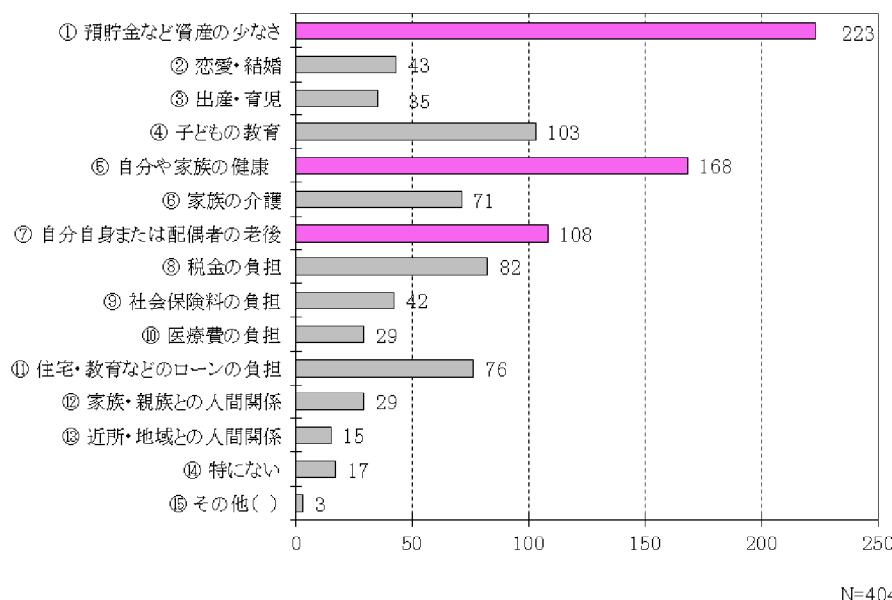
仕事の満足感と生活の満足感



12.暮らし向きに関連した不安・悩み

「預貯金など資産の少なさ」(55.2%)、「自分や家族の健康」(41.6%)、「自分自身または配偶者の老後」(26.7%)が第1回調査から変わらず上位になった。

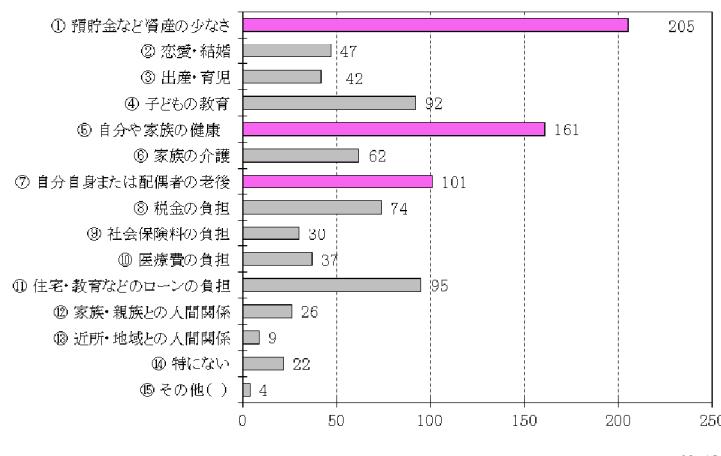
問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=404

参考 前回第4回調査(2013年5月)

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=406

以上